



いしおかブロック保育研究委員会

一部抜粋

今月は2番目に多かったお悩み「兄弟、姉妹とのトラブル」についてです。

「きょうだいげんか」を活かせば、やさしくて強い子に育つ！

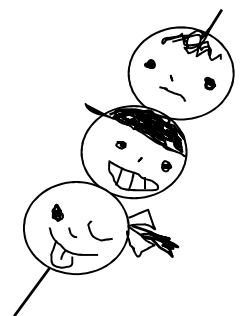
いつもきょうだいげんかばかり…
どうして仲良くできないの!?

幼い頃に、たくさんもめて、けんかすることで自己主張の仕方、気持ちの収め方、仲直りの仕方など人づき合いの心を育むことができます。

「けんかをやめなさい!」「どっちも悪い!」と、怒鳴り散らすだけでは、けんかが一時休戦になるだけ。子ども同士のぶつかり合いを少し見守ってあげましょう。

あまりひどいときには、ちょっと間に入ってあげましょう。

けんかの手助けポイント



1

子どもの気持ちを聞きましょう。

子どもが興奮しているときは、落ち着くのを待ちましょう。

2

「どうしてこうなったの?」「どんな気持ちだった?」いきさつやそれぞれの気持ちを聴きましょう。

思いに共感する

「そうだったの。」と共感し、まずは受けとめてあげましょう。

3

受けとめてもらえたことで、気持ちが落ち着きます。

どうしたらいいか考えてもらう

どちらが正しいか間違っているかではなく、お互いに納得できる手助けが必要なのです。

「〇〇ちゃんはこうしたい。△△くんはこうしたくないんだよね。どうしたらいいかな?」

などと子どもに話しかけて、考えてもらいましょう。

4

話し合いを大事にする

どちらの気持ちも尊重するような言葉をはさんであげたり、不適切な言葉づかいは注意をしてあげましょう。自分が悪かったと思っている時には、謝るように励ましましょう。

5

できたことはしっかりほめる

仲直りできたなら、「今度は仲良くあそぼうね。」と励ましてあげましょう。

ちょっと譲れたなどのことに対しては、ほめることも忘れないでください。

他の子と比べない

ついつい我が子をよその子と比べてしまうものですが、子どもの気持ちになって考えてみましょう。

「お兄ちゃんの方が」「〇〇くんの方が」という言葉… 心に不満を与えてしまうのです。

ひとりっ子

きょうだいに代わる親しいお友だちと関わって友だちあそびをたくさん経験できるとよいですね。相手がよその子だからと親が先回りしてトラブルを避けるのではなく、人と関わる力を身につける機会

として友だちあそびをいかしましょう。